

日教組香川 2024.2



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtukagawa@circus.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月1日発行



今こそ働き方改革の実現を!

オンライン署名のご協力
詳細は3面に

「学校が大ピンチ」を街頭でアピール

後ろ姿は嶋村日教組香川委員長

古賀ちかけ参議院議員も応援に

香教組でもない、香教連でもない、高教組でもない
全国で一番なかまの多い日教組香川へ

日教組香川

HP



Instagram



Facebook



日教組

公式LINE



1.20「7つの提言の実現を求める」全国集会開催

1月20日、日教組は、日本教育会館で「7つの提言の実現を求める」全国集会を開催しました。また、全国39のサテライト会場をオンラインでつなぎました。参加者はWeb視聴含む約5,000人でした。

日教組香川からも全国集会に参加し、またサテライト会場のふらっと仏生山にも組合員が参加しました。

冒頭、主催者あいさつで瀧本司日教組中央執行委員長は、「中教審「質の高い教師の確保」特別部会で、今後教員給与等の在り方について議論される。給特法の制定趣旨と言われてきた、教員の自主性・創造性に基づく職務の特殊性とはかけ離れた勤務実態となっており、給特法は廃止もしくは抜本的見直しが必要。日教組は学校の長時間労働是正には、定数改善、業務削減、そして給特法の廃止もしくは抜本的見直しが必要としてとりくんできた。今変わらなければ、この先も変わらない。そのためにも教職員一人ひとりが声を上げ、全国連帯でとりくんでいこう」と話しました。

午前中の集会では、3単組からとりくみ報告がありました。

北海道教職員組合では、署名・シンポジウム開催・中央での要請行動・全道キャラバン行動の4つを重点にとりくみ、組合一人ひとりが学習することと、法令等を変えることに



樋口修資さん

重点を置いて活動していることが報告されました。

教育連合GIFUユニオンからは、地方連合会と連携し、毎月の街宣行動にとりくんでいる実践が報告されました。

新潟県教組からは、組合員の参画による「世論を動かして法律を変えよう」のコンセプトのもと、メディアと連携したとりくみが報告されました。

また、奈良・沖縄・東京からの報告と、公立連合で看護師をされている方から「夜勤のある職場で、職場で話し合い休憩時間確保のために交渉で交代要員の配置を勝ち取った。できないことではなく、できることをとりくんでいくことが必要で、持続可能な働き方を求めていかななくてはいけない」との報告がありました。

午後からの「変える、未来へつなぐ」シンポジウムでは、まず始めにパネルディスカッションを行いました。

月経困難症、不妊治療、更年期症状、病気、介護などこれまで非常に辛く厳しい状況で勤務せざるを得なかったことや、育児真っ只中の現状、学校の部活動やその他の競技や大会などの運営を教員が担っている見えにくい過重な業務負担についてなどが話されました。会場では涙を流しながら聞き入っている参加者や強く



新潟県からの報告

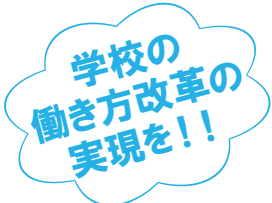
強く参加者の姿が見られました。それぞれのパネリストは、「休暇制度等は拡充してきているが授業など代替してくれる人がいない学校の状況で休みが取れない。取りにくい」声があり、しかし、苦しい勤務を経ても「学校が好きだし、責任感や使命感から辞めることはしなかった」と話されていました。そして「一人ひとりの人生を仕事に奪われてしまわない、そんな職場でなければ」「学校の働き方を変えなければ」との思いから、パネリストを引き受けてくださったとのこと。その後、サテライト会場とも意見交換を行い、7つの提言の実現を求めるとともに、「現場が実感できる働き方改革をすすめよう」と閉じました。

続く講演では、明星大学名誉教諭の樋口修資さんから「学校における働き方改革の最前線を検証する」と題し、連合総研の調査をもとに、2019年の中教審答申や給特法の課題と問題点について、また7月に出席された中教審特別部会からの緊急提言について検証、そして学校の働き方改革には何が必要か、給特法の見直し・廃止が必要であること等について話がありました。

「例えば、登下校指導は学校以外が担うべきと国は提示しているが、現場の実態に即していない、教員以外の人的確保まで責任を持って行ってほしい」という委員長あいさつは、まさにその通りでした。地域と密になっている学校ほど簡単には変わらないのが現状です。また、世論に訴えることも大切ですが、教員一人ひとりが自分たちで自分たちの職場環境を変えるんだという意識を持たなければ、「持続可能な学校」を続けていくことは厳しいと再確認した集会でした。子どもたちのため、自分たちのためになる働き方改革を実施し、楽しい学校にしたいものです。



登壇した人たちの話からワークライフバランスの崩れた教員生活のしんどさが伝わってきました。これまでの当たり前を見直して働き方改革を進めて行かなければ明るい未来はないと思います。



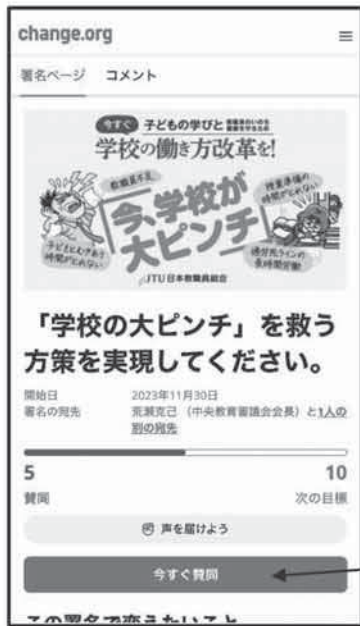
オンライン署名へのご協力を!!

オンライン署名のやり方と注意点

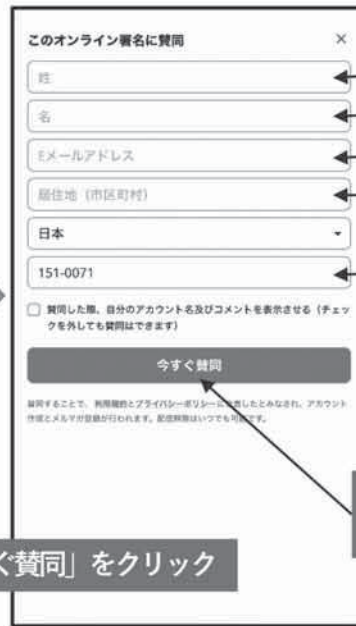
署名ページ▶



① トップ画面から「今すぐ賛同」をクリック



② 氏名、メールアドレス、市区町村、郵便番号を入力



名字を入力

名前を入力

メールアドレスを入力

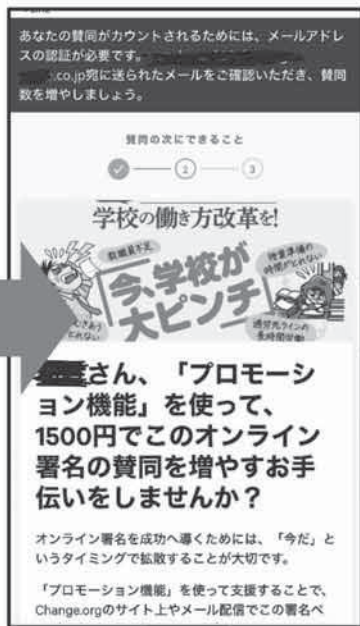
お住いの市区町村までを入力

郵便番号を入力

必要事項の記入が終わったら「今すぐ賛同」をクリック

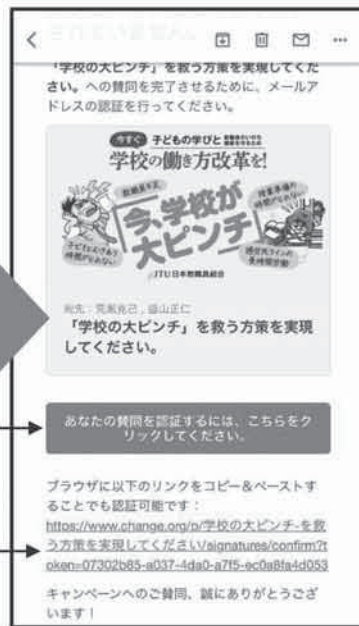
「今すぐ賛同」をクリック

③ 下記が表示されたら登録したメールアドレスに認証メールが届く



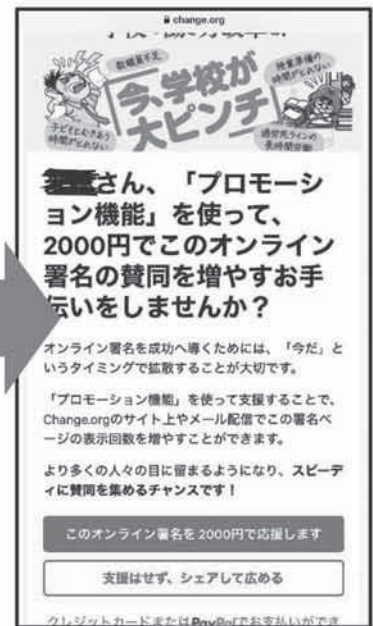
何もせずページを閉じてOK!

④ 下記のようなメールが届くので認証ボタンまたはURLをクリック



いずれかをクリック

⑤ 下記が表示されたら賛同完了



何もせずページを閉じてOK!

1.13 新春のつどい

1月13日(土)15時より、日教組香川と香川退教協共催による「新春のつどい」が開催されました。

嶋村日教組香川執行委員長のあいさつでは、新しい年になっても日教組香川はそれぞれの組合員のそれぞれの夢をかなえるためにさらなる運動をしていくと決意表明がありました。

来賓としてお迎えした古賀ちかげ参議院議員(日政連議員、日教組・

日教組香川推薦)からは、能登半島地震における子どもたちや学校の様子が報告されました。また、最近の日教組香川は若い組合員が多くなり、元気で頼もしい組合になってきているとコメントをいただきました。

そして、教職員共済東四国事業所の楓事務局局さんの乾杯で懇親会を始めました。

懇親会では、支部、専門部や世代を超えた交流ができました。



挨拶をする古賀参議院議員

最後、松下香川退教協会長から今後も現退一致の運動をしていきたいとあいさつがあり、「新春のつどい」を終えることができました。



12.23 女性部学習会 ヨガ教室

12月23日(土)、午前10時より、丸亀市土器コミュニティーセンターで、女性部「冬の学習会」を開催しました。

今回も昨年に引き続き、ヨガインストラクターの角野仁美さんを講師にお迎えして、楽しくヨガを体験し、心と体をリラックスさせることができました。

今年度も2学期の締めくくりの、楽しい「ヨガ教室」で、心も体もリフレッシュできました。
ヨガインストラクターの角野仁美さんは、一つ一つのポーズのたびに、見本を見せて下さるのですが、常に「そのままがいいのですよ。無理をしなくていいのです。自分が気持ちいいと思えるように……」と、優しい声でサポートして下さいます。そして、角野さんの「息を吸って…」、「息を吐いて…」の声にあわせて、息を深く吸ったり吐いたりするたびに、体の中にたまっていた澱のようなものが、流れていくのを感じました。たった90分の「ヨガ教室」ですが、私にとってはとても価値ある時間となりました。
その後の交流会では、和気あいあいと様々な話題が出る中で、悩んでいるのは自分だけではないことに気づかされ、また、明日から頑張ろうと思えました。
みんなで集まって話をするのは元気の素です。
来年度も「ヨガ教室」を実施しますので、みなさん今から楽しみにしててください。



12.26 青年部交流会

12月26日(火)18時より、高松市のジャングルビアガーデンで青年部交流会を開催しました。青年部交流会は今年度2回目になりますが、まだ会ったことのない組合員も多く、自己紹介からスタートし、近況の報告をしました。また、未組合員も参加し、多いに盛り上がった交流会になりました。

速報

日教組第73次教育研究全国集会開催

1月26～28日、北海道札幌市で、日教組第73次教育研究全国集会(全国教研)が開催されました。

26日午前中は、雪に囲まれた札幌ドームで全体集会が行われ、記念講演では、東ちづるさんから「Let's まぜこぜ～浅く広くゆるくつながろう～」と題した講演がありました。

26日午後から28日の分会では、日教組香川から、第22分会では岡本武史さん(高・浅野小)が「気持ちよく働きたい」、第23分会では

城之内庸仁さん(三・高瀬中)が「誰一人置き去りにしない教育を求めて」をレポートしました。

全国教研の詳細な報告は次号3月号で報告します。

詳細は次号でお楽しみに



授業で使える小技や小ネタ④5(分かったのしい授業を(1年))

石原清貴(元小学校教員)

・数え主義・覚え主義と点数序列主義の算数教育

1年生の算数教育は子どもたちにとって算数数学との出会いであり出発点です。(今では算数を教えている幼稚園がたくさんあるのでそうでもないかもしれませんが)がしかし、その出会いで躓く子がいます。その原因が従来から行われてきた数え主義・覚え主義による数と計算の指導法です。

数え主義というのは人間の直感的な数の認知限界4を超える数と計算の原理をどう理解させるのかということで明治以降今まで教えられてきた方法です。そのやり方はおはじきやブロックを数えながら操作し、10までの数の合成分解・20までの数の加減操作を行い、その結果を覚えこむというものです。

しかし、このやり方になじめない子どももいます。覚えるのが苦手な子です。覚えるのが苦手な子の大半はイメージの伴わない事柄を覚えることが苦手です。例えば3と4は簡単にイメージできるのですが3と4を合わせてできる集合7はイメージすることができません。(実は人類全体ができないのですが…) そうなると立ち止まってしまうのです。大半の子は3と4を合わせると7になったという事実を言葉に置き換えて覚えいきます。

(現行の教科書はサクランボ図にしています) 覚えるのが苦手な子はそれがうまくできません。

教える側は「どうしてこんな簡単なことが覚えられないのだろう」と訝しく思いながら何度も訓練して覚えさせようとします。ところが、苦手な子はどうにか覚えてもイメージや操作が伴わないとすぐに忘れます。そんなこともあり、担任は繰り返し宿題に出して覚えてもらおうとします。また、テストを繰り返して覚えられたかどうかを評価します。ところが覚えるのが苦手な子は何度やっても結果を出すことができません。その上低い点数をつけられて、ますます自信を失うことになります。そして、支援学級を勧められることになります。(そもそも1年生から点数評価などすべきでないのです。子どもたちは点数評価に敏感で自然に序列を感じるようになり、苦手な子は劣等感にさいなまれるようになります。)

こんな風に言うと「それはやっぱり、その子の能力の問題であって教え方の問題ではない」といわれそうですが、実は覚えるのが苦手な子も得意な子も楽しく覚えられて確実に身につく方法があるのです。それが前回お話しした5・2進法タイル操作による指導方法です。5・2進法による計算方法は別に難しい理論ではありません。古代ローマの商人の石板計算法に起源をもつ、ソロバンの数のあらし方で、我々日本人も慣れ親しんできた原理です。

この原理に再び焦点を当て画期的な指導法を完成させたのが遠山啓と銀林浩という2人の数学者です。2人は5・2進法と教具として選んだタイルとその操作方法を結び付け、低学年の数と計算の計算指導の体系を完成させます。俗にこの指導体系を水道方式と呼ぶのですが、この方法で指導すると、覚えるのが苦手な子も得意な子も関係なくみんな計算の素過程を楽しみながらクリアできることが分かったのです。

ところがこういった画期的な指導方法があるにもかかわらず、文科省は従来の数え主義覚え主義の算数教育方針を変えることがありませんでした。しかし教科書には5・2進法タイルが入っています。下の図のような枠がありその中に数を表すタイルブロックが入った図を教科書でも使っています。

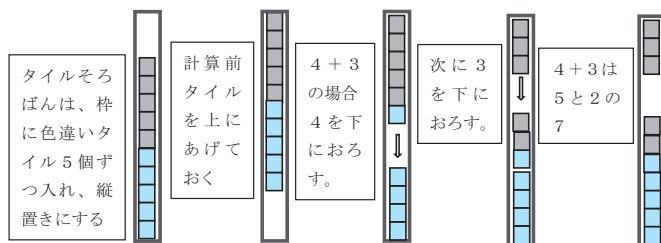
(5・2段法かも?)



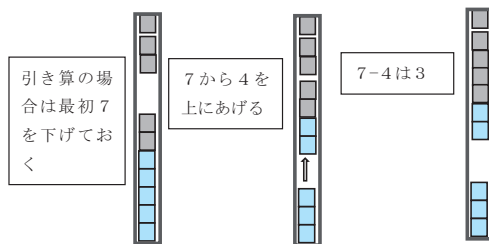
石原清貴氏

5・2進法タイル操作はみんなが分かる優れた方法ですが、その操作方法は1年生にとっては難しい部分もあります。それは5の塊や10の塊をくくったり崩したりする場面です。そこで考案したのが「タイルそろばん」です。これは色違いのタイルを枠の中で操作することで解決できます。

<3+4の例>



<7-4の例>



このタイルそろばんはこれまで多くの学校で使われて成果が出ています。また支援学級の実践では繰り返し練習でき、筆算まで難なくこなすことができるようになった報告もあります。何よりみんなが楽しめた教具でした。

<告知> 2月11日(日)

教育会館3階会議室にて10:00から12:00まで
(参加費無料)

タイルそろばんの作り方と使い方説明会およびタイルそろばんのアプリ版の発表。また、九九ボードと割合ボードの説明と作り方及び九九アプリ・割合アプリの発表を行います。(学級やご家庭ですぐに使えるものばかりです。ぜひ一度ご覧ください。) なお、参加者にはこれまでに完成した算数アプリの入ったCDを無料で進呈します。

気持ちよく 安心して 働けていますか？
JTU-カフェ&電話相談会

Open → 2月15日(木) **18:30~20:00**

@ 日教組香川事務所(高松市中野町 15-24 佐藤ビル1F)

3年ぶりに【JTU-カフェ】を **Open** しています！

飲み物とお菓子を用意してお待ちしております。ぜひお気軽にお越しくださいね。

組合員でない方も大歓迎です！ただし、お茶代 **500円** いただきます。

引き続き電話・FAX でのご相談も引き続き承ります。

TEL:0120-27-5925 FAX:087-802-1642

パワハラ、セクハラ、マタハラ等、職場の人間関係で気になること
 など、お気軽にご相談ください。相談には、日教組香川役員、臨床
 心理士が対応させていただきます。



総合共済

月掛金 **900円**

契約期間5年で、実質月掛金は500円になります

たとえばこんなとき、自転車で他人にケガを負わせてしまったら？

<p>日常の生活で</p> <p>「個人賠償責任補償」が あなたとご家族を守ります</p>	<p>お子さまが通学中に</p> <p>「教職員賠償責任補償」が あなたを守ります</p>	<p>家庭訪問中に</p>
---	---	---------------

総合共済は
「自転車保険」としても
ご利用いただけます！

総合共済なら、日常の賠償事故も
業務中の賠償事故も
最高 **3,000万円** まで補償！

それ以外にも
役立つ補償が10種類
ついています！

※総合共済は、教職員共済の「総合共済」と、損害保険ジャパン株式会社の「傷害総合保険」「業務過誤賠償責任保険」を組み合わせたものです。
 ※この広告は概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。

承19-企-25(1910) SJNK19-08956(2019.11.01)

資料請求はこちらから
スマホからもカンタンです！



教職員共済

検索

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

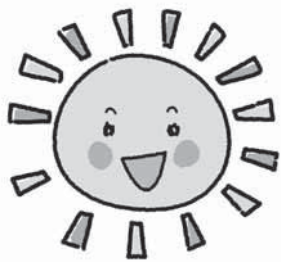
〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40 香川県教育会館
 電話 **0120-27-8140** FAX **0800-200-2207**

2025年度教員採用試験(2024年7~8月実施) 対策講座受講生募集中!!

2023年10月より、県内3地区で開催中

詳細はHPで

	日時		場所
	前期(10~3月)	後期(4~8月)	
大川会場	隔週火曜日	毎週火曜日	長尾公民館 ※12月より会場変更
	19:00~21:00		
高松会場	月1回土曜日	隔週土曜日	ふらっと仏生山 (高松市仏生山コミュニティセンター)
	10:00~14:00		
新 丸亀会場	3週間に1回		マルタス (丸亀市市民交流活動センター)
	19:00~21:00		



☆資格の学校TACのオンライン講座

☆経験豊かな現職&OB教員の講師による
面接指導や模擬授業対策

☆自習時間等での個別対応

合格者の声

1次合格者、2次全員合格!!

働きながら勉強することが難しい時事的な課題を、TACの動画を通して知ることができました。願書の志望動機などの添削もしていただき、文章を書くのが苦手な私にとっては、とても助かりました。集団面接の対策講座では、同じ教員採用試験を受ける方々と本番に近い形式で練習する事ができました。模擬授業の練習では、一緒になって授業の組み立てや流れを考えてくださったり、講座の日程とは別に模擬授業の対策をしていたり、励みになりました。
(小学校合格者)



対策講座のおかげで仕事と勉強のメリハリをつけて取り組めたと思います。そして何より集団討論や模擬授業など、一人では対策することが難しいことも受講者全員で議論や相談し合うことでしっかり対策して試験に臨めました!
(中学校社会合格者)



教員採用試験対策講座を受講することで、勉強に対するモチベーションを保つことができました。中でも一番良かったのは集団討論対策です。何回も練習することによって場慣れしていき、本番にも落ち着いて臨むことができました。
(中学校理科合格者)



日教組香川はあなたの夢を実現するためのサポートをします。

お申し込み、お問い合わせは



または ☎ 0120-27-5925 まで

教職員のためのライフプランセミナー開催

日時 2024年2月23日(金:祝日)13:00~15:50

13:00~13:50 「これからの資産運用」

~幾何ブラウン運動モデルを用いて、シミュレーションをとってみる~

四国労働金庫 水口雄太 ファイナンシャルプランナー

— 労金とは —

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などのはたらく仲間が、お互いを助け合うために資金を出し合っ

てつくった協同組織の金融機関です。非営利を原則に、会員（労働組合、生活協同組合、互助会など）の一人

ひとりが主人公として、1会員1票制により、協同して運営に参加しています。銀行は営利を主目的とした株式会社のため運営が違います。

1950年に誕生して以来、はたらく人の支持と社会的評価を受けながら着実に発展してきました。いまでは全国で1,100万人以上の方に広く利用されています。

つまり、ろうきんは、日本でただひとつ、はたらく仲間がつくった、非営利の勤労者福祉金融機関です。

— 教職員共済とは —

教職員共済は、教職員相互の助け合いによる組織です

教職員共済生活協同組合（教職員共済）は消費生活協同組合法（生協法）にもとづき、厚生労働省の認可を受けて設立された、共済事業を行う協同組合です。

教職員共済は、協同互助の精神にもとづき、組合員（教職員）の生活の文化的・経済的改善向上を図ることを目的に共済事業を行っています。

私たちは「教職員にとってなくてはならない存在になる」を合言葉として活動しています。

ぜひ、助け合いの仲間の輪に加わってください。



きりんが仲間で行動する姿は「たすけあい」に、その体を寄せあう姿は「ささえあい」に通じることから、教職員の仲間どうしの助け合いを目的とした教職員共済をイメージするキャラクターとして決定しました。教職員共済のキャッチフレーズである、「あ」んしん「お」すぶに、き「りん」で「あむりん」です。

— あむりんとは —

14:00~14:30 「あなたもわたしもみんなあむりん」

教職員共済 井上匡央 常務理事

14:40~15:50 「教職員共済ミニ講座」

- ・公的保険と定年延長の基礎知識
- ・総合共済のススメ（教職員賠償責任補償）

教職員共済 眞本和枝 事業推進部調査役

場所 ふらっと仏生山(高松市仏生山交流センター)

※セミナーは3つありますが、1つだけ、2つだけの受講もできます。

申し込みは
QRコードから

